

つくば市記者会 御中

発信日：令和2年（2020年）10月19日（月）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 情報政策課

■取材依頼 ■周知依頼 ■募集告知 □その他

総務省 第5回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」で「特別賞」を受賞



つくば市は、本日（10月19日）、第5回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」（主催：総務省統計局）において、特別賞を受賞しました。

当市は「Hack My Tsukuba」（共催：筑波大学、つくば市）の実績に基づき応募し、全国54（都道府県18・市区町村36）の中から選ばれました。

なお、取組内容の詳細は、別紙をご参照ください。

取組名称：「疑似市民データ」を活用したアイデアソンの開催

- ✓ 街づくりのアイデアや地域課題の解決法を広く募るアイデアソンのイベントを開催
- ✓ 課題解決の検討には住民データを参考に作成した疑似データなどを活用

【参考】

総務省 第5回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」

https://www.stat.go.jp/info/guide/rikatsuyou/index_2020.html



Hack My Tsukubaとは

つくば市は、市が保有するデータを活用して地域社会に役立つ解決策を市民とともに考えるため、筑波大学と共催でワークショップ形式の「Hack My Tsukuba 2020」を開催しています。

第1回、第2回では、新型コロナウイルス感染症の現状における地域課題を洗い出し、分析をしてきました。第3回は、これまでの議論をさらに一歩進めたサービス分析を行い、ナッジ理論等を応用しながらアイデアをカタチにしていきます。前回同様、つくば市のオープンデータ等を活用しながら議論を進めていきます。



申込みはこちら

次回開催情報（Hack My Tsukuba 2020 第3回）

Hack My Tsukuba 2020
～コロナと共に生きるまちづくり～
データを活用した課題解決型ワークショップ

参加 第3回「ニューノーマルと地域課題解決」
無料 2020年11月7日（土）10：00～17：00 オンライン開催

主催：筑波大学、つくば市

- 対象 地域の課題解決に取り組んでみたいと思う方
- 申込方法 申込フォームに必要事項を入力
(11月6日（金）まで)
- プログラム テーマ説明、ライトニングトーク、グループディスカッション、発表

Data StaRt Award

～第5回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」～ 受賞団体及び取組

受賞団体	取組
【総務大臣賞】 宮城県仙台市	過去の気象・被害データに基づいた災害規模予測の導入 風水害時の気象・被害等のデータから災害規模を予測するモデル・ツールを開発し、 予測結果を災害発生前に部署内に周知。危機意識の共有・災害対策立案の支援を行う仕組みを確立
【統計局長賞】 宮崎県	新・みやざき統計BOXの構築 5,000以上の統計のデータを簡単な操作で可視化できる全国に先駆けたWEBサイトを構築 児童・生徒の統計学習や自治体職員の政策立案等のツールとして寄与
【特別賞】 茨城県つくば市	「疑似市民データ」を活用したアイデアソンの開催 街づくりのアイデアや地域課題の解決法を広く募るアイデアソンのイベントを開催し、住民データを参考に 作成した疑似データなどを活用し課題解決を検討
【特別賞】 福岡県糸島市	糸島マーケティングモデル推進事業 統計データの分析により地域の産業経済を押し上げる成功モデルを発見し、強みを活かした糸島ブランド 創出のためのマーケティング支援策を政策立案
【特別賞】 長崎県	長崎県の転入・転出に係る構造分析及び動態把握事業 「平成29年就業構造基本調査」の統計マイクロデータを用いて、転入・転出の主たる理由等を県独自で分析 するとともに、転入・転出の理由等をタイムリーに把握するアンケートを試行

【特別賞】

茨城県 つくば市

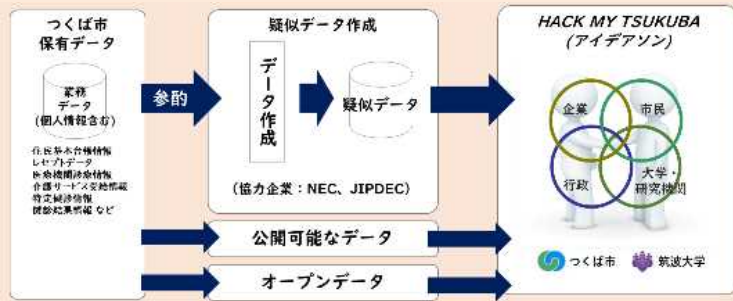
「疑似市民データ」を活用したアイデアソンの開催

- ✓ 街づくりのアイデアや地域課題の解決法を広く募るアイデアソンのイベントを開催
- ✓ 課題解決の検討には住民データを参考に作成した疑似データなどを活用

地域課題解決のアイデアソン開催

市民が自ら課題解決を考えていく、ディスカッションと解決策提案の機会を提供することを目的として開催

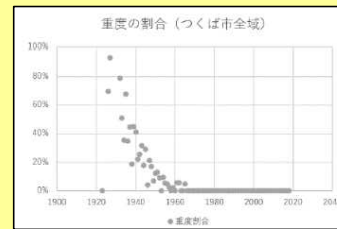
- ・ 2019年度テーマ：高齢者福祉に関わる課題解決
- ・ 市民、企業、大学、行政関係者など、のべ86名が参加
- ・ GISやExcelを使った疑似データの可視化、相関・回帰分析の手法等によりデータ活用を検討



- ・ アイデアソンでは、日常生活圏域（中学校区）ごとにクラスター分析することに着眼し、**非識別加工情報で推奨される匿名加工よりも非常に強いノイズやスワップを入れる加工を施し**、疑似データ(非個人情報)を作成
- ・ 参照データ(元データ)とは全く違うデータだが、**クラスター毎の集計や比率は同じになるように、専門家の意見を取り入れて、ノイズ加工を施した。**

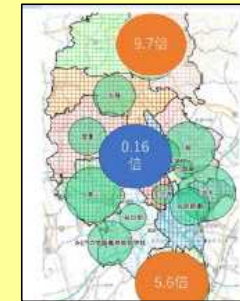
自治体の中でしか検討することができない**詳細なデータに基づくディスカッションが可能に**

地域貢献につながるアイデアの創出

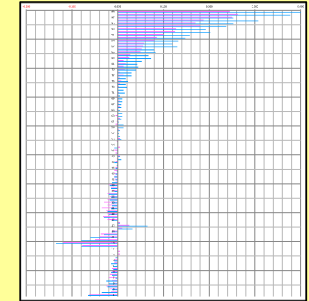


<年齢と重度介護者割合の相関>

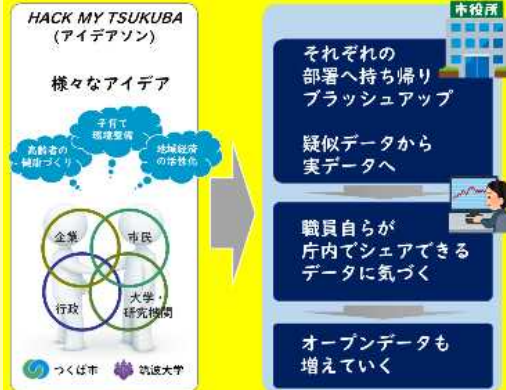
※疑似データのため結果は現状に沿っていません。



<65歳人口/10歳以下人口を可視化>



<行政区別年齢別人口データからコーホート分析>



<挙げられたアイデア例>

- ・ ひとり暮らし高齢者の困りごとと解決
- ・ 多世代コミュニケーションの場
- ・ 助けられる人と助ける人のマッチング
- ・ 動ける高齢者の活躍

<期待される効果>

自治体だけでは思いつかない**アイデア**を市職員が持ち帰り政策立案に活かす**循環が生まれる強固な体制を構築**

<活用データ> 国勢調査、国土数値、つくば市オープンデータ、住民基本台帳データ、レセプトデータ、健診結果情報 等